

私が考える逗子の良さとは・・・

海と山の豊かな自然、あまり手が付けられていない文化・歴史の史跡遺跡そして文化度の高い市民中心の様々な文化活動です。

こうした逗子の宝を最大限に尊重して守り活かすことができる産業は観光。逗子にふさわしい観光の在り方は環境との共存をテーマとしたエコツーリズムしかありません。

思いを形にするには・・・

活動として「SDGs 逗葉エコツーリズム推進の会」を設立しました。この運動を前に進めるには行政のバックアップ、多くの方の共感が欠かせないと実感し、市政に挑戦したいと考えています。

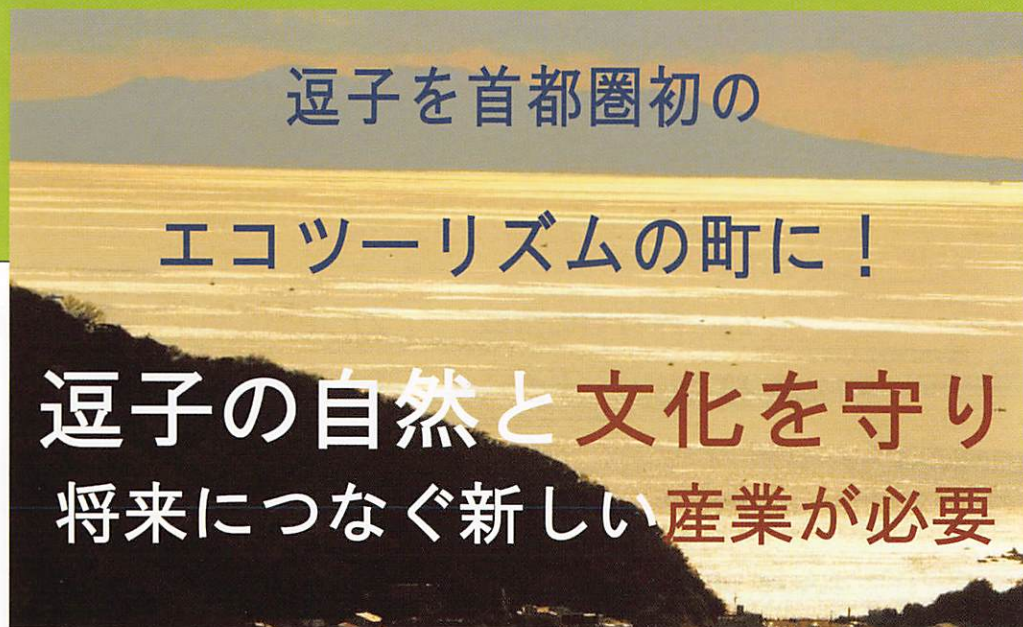
SDGs 逗葉エコツーリズム推進の会

活動の第一歩として逗子環境フェスティバルへの参加を考えています。普及活動を通して将来的には官民一体となった「逗子エコツーリズム協議会（仮称）」の設立を目指しています。趣旨にご賛同いただき、皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

☆会に賛同いただける方は、ご氏名、ご住所を明記の上、ご意見等もあわせてお知らせいただければ幸いです。

Email: takao.kohinata@gmail.com

事務局 倉田雅行 (090-5215-3694)



逗子を首都圏初の

エコツーリズムの町に！

逗子の自然と文化を守り 将来につなぐ新しい産業が必要

フォト by こひなたたかお

小日向孝夫 こひなたたかお アウトドアコーディネーター

逗子に移り住んで44年。「山と溪谷社」で37年間編集の仕事に携わってきました。

仕事を通して世界中の地域を訪ね、多くの人と出会い、自然との向き合い方を学ぶことができました。

その経験とネットワークを活かしてエコツーリズムを実現することで逗子の振興に尽くしたいと考えています。

小日向孝夫 が挑戦する こひなたたかお エコツーリズムの町



フォト by こひなたたかお

6つの

キーワード

- 1) 旅行者の啓蒙
- 2) 絶滅に瀕した動植物の保護
- 3) 文化・歴史的環境保全への貢献
- 4) 専門ガイドの育成
- 5) 地元社会の利益
- 6) ゴミの削減と最小限の環境インパクト

逗子とエコツーリズム

逗子には逗子海岸、小坪、神武寺、鷹取山、二子山、矢倉（マンダラ堂）、名越、前方後円墳の遺跡、鎌倉時代に港として栄えた和賀江島など魅力的な観光資源があります。海だけでなく、山にも恵まれた逗子のイメージを加え、観光のオールシーズン化が実現します。

披露山・大崎公園、鷹取山、二子山、三浦アルプスなど海が眺望できる多くの場所が山歩きを楽しくさせています。各山の表示板や市内の観光表示板の整備（英語の表示も必要）し、倒木の整理など登山道の整備をします。安全に山歩き、ハイキング、遺跡探索ができれば、地域住民も健康増進のために気軽に運動ができる環境が整います。

エコツーリズムの大事な要素として自然、史跡、遺跡を学んだガイドの研修も必要です。市民が資源の価値を学び観光客と共有する観光の在り方がエコツーリズムです。多くの観光客が逗子、葉山の魅力をガイドの案内で楽しむことでリピーターや移住に繋げるきっかけにもなるはずです。

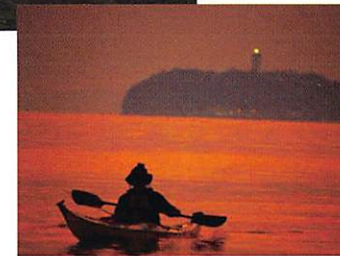
小日向孝夫は

「山と渓谷社」では様々なアウトドアスポーツ誌の編集や全国の山岳観光地（白馬村、水上町、茅野市、北上市、猪苗代町、神津島、式根島など）の振興プロジェクトに携わりました。アウトドアスクールの運営、石川県と加賀市と共同で「日本百名山写真コンテスト」や各地の大型キャンプ大会なども行ってきました。

現在はスポーツ量販店「スポーツオーソリティ」や「山ガールネット」などのアドバイザーを務めています。「山岳ガイド協会」のガイド資格、旅行業免許、一級船舶免許など有しています。

逗子市では「山カフェ」主宰、逗子市社会福祉協議会や市民講座の講師、逗子市消防団員を務めています。

1949年10月14日生、桜山在住44年、
家族：1男1女、趣味：ヨット
好きな歌：「海その愛」



穂高岳ジャンダルムにて。左端が本人